

門議員

その他の質問
左義長まつりへの取り組みについて

第2次勝山市行財政改革 実施計画について

Q 質問 行財政改革実施計画の中の公民館職員の嘱託化について、目標年次の32年までの具体的な進め方、及び職員が嘱託化された場合、地域を知り人材を知りまづくりに関わる機会をどのように補完するのか、その取り組みを伺う。

A 答弁 公民館職員の嘱託化は、公民館職員が、まちづくりコーディネーターとして専門性を高め、より効果的な組織運営を行うことを目的としているが、現在、市内で検討を進めている段階であり、方向性がまとまり次第、議会へ説明するとともに、市民の方々の意見をお聞きしながら、より良い取り組みとなるよう進めていく。

職員を育成するためには、公民館だけでなく、各職場を経験し、専門的知識を習得するとともに、業務を通じて職員が地域を深く理解し、地域との繋がりを強化することが必要である。また、職務を離れ地域に戻れば一市民として地域活動に参加し、地域を知り、まちづくりに取り組みよう指導していく。

地域少子化対策強化交付 金事業への取り組みについて

Q 質問 国の段階でも、人口減少社会への対策に本腰を入れて取り組むことで、婚活支援や結婚相談、男性向けの妊娠・出産の知識啓発など、幅広く使える地域少子化対策強化交付金事業を創設し、県段階には4千万円、市区町村には8百万円を上限に交付することであるが、今回の交付金事業をどのように活用するのか。

A 答弁 地域少子化対策強化交付金事業は「結婚に向けた情報提供などに対する助成」であり、「婚活事業」は補助対象外となる。市では、これまでの実績から結婚相談員による相談活動と、当事者の出会いイベントである交流事業を実施し、イベント終了後もアフターフォローをしていくなど、きめの細かい支援をしていく。



村岡公民館 そば打ち教室

下道議員

その他の質問
「子育てタクシー」の導入について
在宅介護をこなう子ども達への支援について

非婚のひとり親家庭への 寡婦(夫)控除等のみなし 適用導入について

Q 質問 現在、結婚歴のない非婚ひとり親は、所得税法上の寡婦に受けられる所得控除の対象外になっている。控除がない分、納税額が増え、税額に応じて決まる保育料や公営住宅の家賃なども、課税所得が高く算定される場合がある。その格差をなくすために、寡婦控除があったとみなして保育料などを算定する制度を導入すると良いと思うが、市の考えを伺う。

A 答弁 保育料算定にあたり非婚ひとり親家庭への寡婦(夫)控除等のみなし適用については、県内をはじめ、他県でも一部の自治体で導入されているが、来年4月からは、新たに「子ども・子育て支援制度」が導入され、保育料の算定基準が国から示される予定となっているので、保育料の見直しと合わせ検討していきたい。また市営住宅の家賃に対しては、今後の国や他の自治体の動向などに注視し、非婚ひとり親家庭の負担軽減の可能性について検討していきたい。

観光における公共交通の 活用と情報発信について

Q 質問 平泉寺や恐竜博物館へ行く路線バスの中に、観光地の案内地図や写真の掲示、観光案内ビデオの放映を行ってはどうか。また、えちぜん鉄道による電車と連携したデマンドバス「勝ち山号」は、路線バスでは本数の足りない平日などの時間帯に、希望通りに来てくれる観光客等にやさしい公共交通となっている。もっと市のホームページ等でも宣伝すべきと考えるが、市の考えを伺う。

A 答弁 公共バス車内等での市内観光地のアピールについては、バス車内で、どのような形で観光情報が発信できるのか、駅舎やバス停においても観光客に対する観光情報の提供ができないか等、運行事業者と協議していく。

えちぜん鉄道が運行委託する観光専用バス「勝ち山号」については、観光部局と連携し、電車を利用して訪れる観光客があらかじめ情報を把握できるようにPRに努めていく。



恐竜ラッピングバス

一般質問